山口県家畜人工授精師会中部支部が
通常総会及び研修会を開催

山口農林事務所畜産部
平成23年３月24日

平成23年３月10日(木)、家畜人工授精師会中部支部が、山口農林事務所畜産部において、23名の出席により通常総会を開催し、平成23年の行事計画を決定しました。総会では、支部活動の活発化や牛の改良に効果のある受精卵移植の推進等について、活発な意見が出されました。

また、総会終了後の研修会においては、牛の健康管理や昨年の宮崎県、韓国各地で発生している口蹄疫の問題について研修し、家畜人工授精師としての認識を深めました。酪農及び肉用牛経営の状況については、長引く不景気の影響による消費及び価格の低迷、飼料価格の高止まり等により、厳しい状況が続いており、畜産部としても、受胎率の向上をはじめ生産性の向上に向けて、より良い農家指導ができるよう支部活動を支援していきます。

総会(畜産部長挨拶)

研修会(口蹄疫)